

## 葉色が急激に低下！穂肥を確実に実施しよう！

- コシヒカリは、草丈が長く、葉色がやや淡くなっています。
- 分施肥体系では、1回目の穂肥の7日後を目安に、2回目の穂肥を確実に施用しましょう。全量基肥（一発肥料）体系では、出穂期10日前を目安に追肥を実施しましょう。
- その後、葉色の回復が見られない場合は、出穂期直前の3回目穂肥や全量基肥（一発肥料）でも追肥し、後期栄養を確保しましょう。

### 1 コシヒカリ生育概況（7月17日調査）

草丈…	84	cm	（指標比 117%、長い）
茎数…	434	本/m <sup>2</sup>	（同上 106%、やや多い）
葉色…	33.0	(SPAD)	（指標差 -1.1、やや淡い）
葉数…	12.6	葉	（同上 1.3、早）

※草丈等数値：定点調査ほ4か所平均値（田植え日の平均：5月11日）

### 2 当面の対策

#### （1）コシヒカリの後期栄養確保

～多日照・高温の日が続くと、さらに葉色が低下する可能性があります～

##### ア 分施肥体系

- 1回目の穂肥の7日後を目安に、2回目の穂肥を確実に施用しましょう。

##### イ 全量基肥（一発肥料）体系

- 出穂期10日前を目安に追肥を実施しましょう。

##### ウ 両体系共通

- その後、葉色の回復が見られない場合は、出穂期直前の3回目穂肥や、全量基肥（一発肥料）でも追肥を実施しましょう。

（穂肥及び追肥施用の目安は、図、表1、表2を参照）

表1 2回目穂肥（分施肥）、追肥（全量基肥）の目安

区分	施用時期	施用量 (窒素成分kg/10a)
分施肥体系	1回目の7日後頃	1～1.5
全量基肥体系	出穂期10日前	

## 【例示】

- ・ 出穂期の目標SPAD値: 34
- ・ 2回目穂肥時のSPAD値: 33
- 穂肥窒素量: 約1.5kg/10a

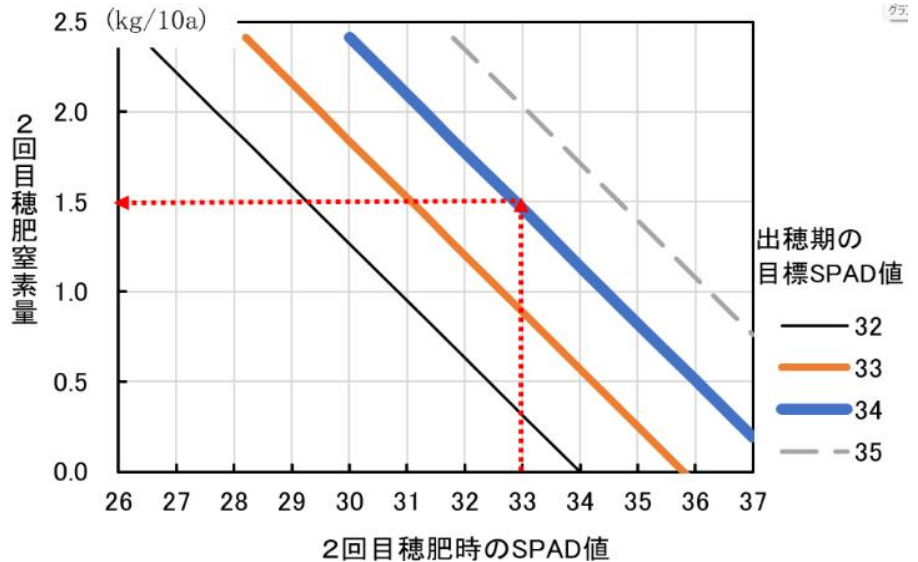


図 コシヒカリ 2回目穂肥の目安

表 2 出穂期直前の追肥の目安

区分	判断時期・葉色 (SPAD値) の目安	追肥施用時期	施用量 (窒素成分 kg/10a)
分施体系 (化学肥料)	出穂期 3 日前・SPAD値31以下	出穂期 3 日前	1
全量基肥 (化学肥料)	出穂期までのSPAD値が32～34を下回ると予想される時		

## (2) 水管理 ～用水が不足している地域がみられます～

- ア 飽水管理を徹底し、完全落水は出穂期後25日以上としましょう。
- イ 用水を大切に利用しましょう。かけ流しはやめましょう。
- ウ フェーン等緊急時の入水時には、地域農家間で協力しましょう。

## (3) 病虫害対策

## ア 葉いもち

葉いもちの発生が確認されています。特にいもち病に弱い「新之助」「わたぼうし」は葉色が濃い株などを確認し、病斑を発見したら直ちに薬剤防除を行いましょう。

## イ 斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類の注意報が発令中です。①農道畦畔のイネ科雑草が穂をつけない間隔での継続的な草刈り、②液剤や粒剤など剤型に応じ、適期に防除を行いましょう。

『農薬は正しく使い、周りに農薬が飛散しないよう注意しましょう。』  
「農薬危被害防止運動（6月1日～8月31日）」を実施中！

詳細は下記のHPをご覧ください

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shibata-nogyo/r7nouyakukihigaibousiundou.html>